所沢市立美原中学校

学校だより No11

令和４年度　第 11 号
２月２日（木）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

LGBTQ+の講演会を経験して。

＊生まれながら持っている人権↓

【前略】中学校３年生の公民で学ぶ日本国憲法の 11 条では、**「国民は、すべての基本的人権の＊享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在および将来の国民に与えられる。」**とあります。更に第 12 条には、**「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。又国民は、これを濫用してはならないものであって、常に公共の福祉のために利用する責任を負ふ」**とあります。つまり**、「人は、誰も人権があり、それを誰にも侵害されてはならない。更に人は皆努力をしながらそれを持ちつづけるとともに、それを悪用しては、ならず公共の福祉のために使わなくては、いけない」**という意味です。更に教育基本法第１条には、教育の目的を**「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身共に健康な国民の育成を期して行わなければならない」**ともあります。

LGBT の尊厳とだれ一人取り残さないシンボルのレインボー旗

ここで何が言いたいのかと言うと、私は、LGBTQ＋の内容だけを学んでほしくて、今回の講演を企画したわけではないということです。皆さんが、LGBTQ＋の考えを**「人権」の学び**として深く捉え、**少数派、（マイノリティー）、多数派（マジョリティー）**をどのように考え、様々な機会に、どのように折り合いをつけていくかを考え実践し、身につけてほしいのです。理屈や言葉だけの意味が分かっても、日々の生活でできること、できないこと、うまく合意形成できないなど、学校生活だけを考えても学校でできることと、できないこといくつもあります。このような悩みは、多数派、少数派の両方を尊重しながら日々を送ることや実践する場面に皆さんが直面すれば、誰もが解決しにくいことが多くあることに直面し、その難しさを知ることになります。

それでも、いまの私が示すことができるのは、シンプルに考え、まず学校で、できることから始めようと決めたことです。（男女混合名簿の導入、校服の検討や体育館の多目的トイレの設置、小便器のついたて等もその一つです。）まず、動けることから順に丁寧にやっていこうと考えました。

私は、LGBTQ＋のことを学んでいくうちにLGBTQ＋に該当する人が全体の 9.8%もいると知りました。100 人のうち 10 人です。左利きの人と同じぐらいの数値だそうです。

学校には、**少数派、（マイノリティー）**の範囲に入る生徒がたくさんいます。目の悪い子。音をよく聞き取れない子。大きな音の苦手な子。PC など使ってノートをとれるが、書くことに時間のかかる子。視覚からしか記憶に残らない子。その場の空気を感じれずに悩んでいる子。拡大教科書や電子教科書など様々な様式の教科書を使用する子。背の高い子、低い子。声の高い子、低い子。肌の色が違う子。勉強の得意な子、苦手な子。運動の得意な子、苦手な子。日本語の苦手な子。歌のうまい子、不得意な子。絵の得意な子、不得意な子。板書の一定の色だけが区別のできない子。持病のある子。Ｒｈ－の血液型の子。食物や薬物アレルギーのある子。その他、多数あります。この少数派、（マイノリティー）を足せば、間違いなく**少数派の多数派（マジョリティー）**になります。だから、これが**「当たりまえ」**、あえて言うなら**「普通」**だと考えました。

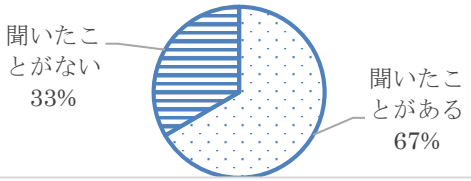
そんな例としてお話しすると、私は、以前、運動の苦手な子を担任していました。体育祭に大縄跳びという種目があって、その子を外せばクラスの大縄跳びは、大変多く跳べていました。クラスでは、紆余曲折しながら、最後には、その子を入れ、前後に運動の長けた子が並び当日本番では、トレーニングパンツを前後で持ちながら跳んでくれました。一位には、なれませんでしたがその子たちの優しい心根に触れ、本番当日クラス新記録を出したクラスの歓喜は、今でも忘れることができません。

今回の講義後のアンケートは、全部、読ませていただきました。生徒の皆さんがこの講義に真摯に向き合ってくれたのがアンケート結果からも良く伝わってきました。何か変ですが、まず皆さんに真摯に向き合ってくれて「ありがとう」と伝えたいのです。そして、ここにそのアンケートの集計結果を載せさせてもらいます。記述のものも目を通させてもらいました。若者の柔軟な考えがよく伝わってきました。これを「本気の笑顔を体験できる美原中学校」で**少数派（マイノリティー）のカミングアウト**した内容を知っても、「**アウティング**」することなく、多くの分野で「**アライ**」となり、実社会で実践できる、柔軟で心優しい生徒が育つことを切に願って、本日の話を終了します。今後もまたみんなで一緒に確実に歩んでいきましょう。

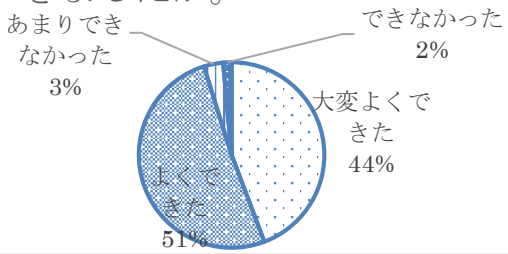
『カミングアウト』：他の人に打ち明けること
『アウティング』：本人の許可なく第三者に暴露すること
『アライ』：理解者、支援者、味方のこと

皆は、こんな意見をもっている！　LGBTQ＋のアンケート結果

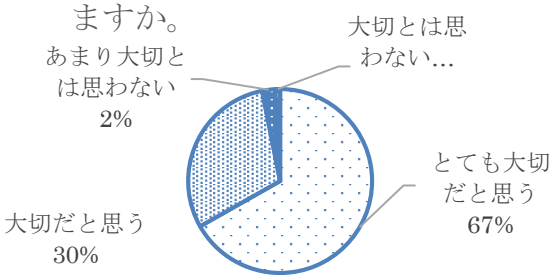
①この講演会を聞く前に、LGBTQ+という言葉を聞いたことがありますか。



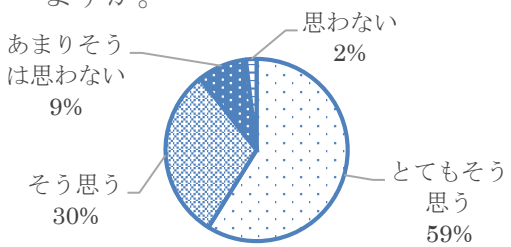
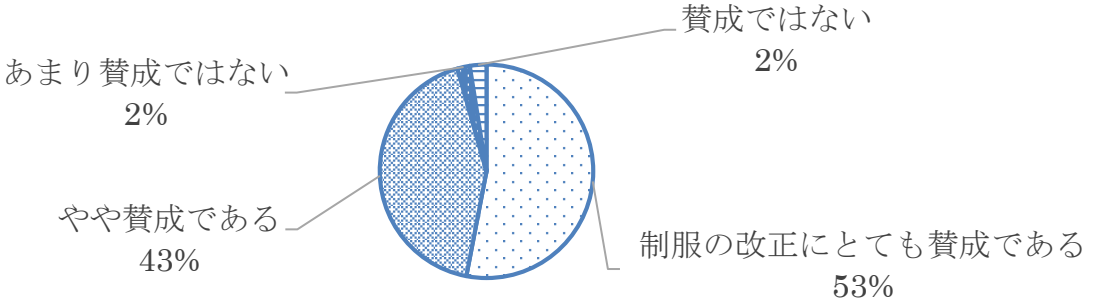
②LGBTQ+の考え方が理解できましたか。



③LGBTQ+の考え方は大切だと思いますか。



④今後、社会において、LGBTQ+の考え方が広まった方が良いと思いますか。



⑦美原中学校の制服の改正（制服を変えること）についての意見を聞かせてください。